

# 紫峰会報

第 83 号

2002年 12月4日発行

E-mail admin@shihoukai.gr.jp

URL http://www.shihoukai.gr.jp/

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel 0298-52-8572



左上：心癒されるリコーダーアンサンブル 左中：鉄道研究会による模型の展示  
左下：「いっらっしゃいませ!」模擬店が軒を連ねる 右：UNITEステージのライブの様子

## 第 28 回筑波大学学園祭開催

大学に近づく、学校全体が鳴っているように錯覚する。楽器の音、売り子の声、場内アナウンスや歓声が混ざり合い、一つの躍動感溢れる音の塊となって押し寄せてくるのだ。聞く者の気分を高揚させ、巻き込んでいく力強い音。筑波大生の底力を肌で感じる瞬間である。

10月12日から14日にかけて、第二十八回雙峰祭が開催された。「Break Mass Concept」をテーマに掲げた今年は3日間を通して青空が広がり、大勢の来場者で終日にぎわった。筑波大の広大な敷地もこの日ばかりは300を超える数の企画で埋め尽くされ、なかなか壮観であった。留学生や県人会による各地の料理に舌鼓を打ちながら屋外に設置されたステージに見入る。ダンス、バンド、合唱、ジャンルこそ違っても、普段の自分を解放するかなのような力強いパフォーマンス

スはどれも素晴らしく、筑波大生の存在を十分に印象付けるものであった。屋内では主に文化系サークルが各種展示会を行い、個性的な活動成果を存分にアピールした。

祭りの勢いは夜になってもとどまることを知らず、広場で行われたディスコでは多くの人が踊りの輪の中に身を投じていた。最終日にはエネルギーあふれる3日間を象徴するかなのような火花が打ち上げられ、秋の一大イベントは大盛況のうちに幕を閉じた。(取材/芸サ連広報局員 大久保 直美・日日2年)



笑顔で援助金目録を受け取る中枝委員長

## 学園祭を終えて

美しい青空の下、第28回雙峰祭が無事終了することができました。期間中は、多くの方にご来場いただき、終始大変な賑わいに包まれました。実行委員長として、紫峰会会員の皆さまをはじめ御協力をいただいた方々にこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

研究所見学ツアーや映画祭、DISCOなどの本部企画も、一般の模擬店やサークル展示に負けないくらいの活況を呈しました。内容につきましても好評をいただき、委員一同学園祭の成功を実感しているところであります。

来年は、筑波大学開学30周年の記念すべき年です。学園祭もそれにふさわしい充実した内容をにしようと、後輩達も張り切っておりますので、これからも暖かく見守って下さいますようお願い申し上げます。(寄稿/2002年学園祭実行委員会委員長 中枝 真一・社会2年)

## Campus News

### 図書館情報大学・筑波大学統合記念式典



両大学混声合唱団による演奏

10月1日午後3時より、筑波大学学生会館講堂において、図書館情報大学・筑波大学統合記念式典が開催された。両大学の教職員・OB・茨城県知事、文部省関係者など約700名が出席した。

式典において北原保雄筑波大学長は「今後、大学間の競争が厳しくなる中で教育・研究基盤の強化が一層求められている。両大学の人的・物的資源の融合で、個性豊かな開かれた大学を作りたい」と挨拶した。また吉田政幸前図書館情報大学長は「統合により、新たな学際的研究分野、国際的研究拠点が生まれる」と締めくくった。また、式典の後、つくば市内のホテルで記念祝賀会が開催され、筑波大学津軽三味線倶楽部による演奏が行われた。

統合に向けては、平成12年6月の評議会において「図書館情報大学との統合について話し合いを始めること」を了承し図書館情報大学長と筑波大学長が共同記者会見が行われ、同年11月6日図書館情報大学と筑波大学との「大学統合推進合意調印式」を実施、11月17日「図書館情報大学・筑波大学統合協議会」が設置され、準備が進められてきた。

統合により、筑波大学に図書館情報専門学群、同大学院に図書館情報メディア研究科等が新設された。なお図書館情報専門学群生の受け入れは平成15年4月から開始される。

### 第22回図書館情報大学学園祭「栗苑祭」開催

11月16・17日に、「PUSH 図情!」

をテーマに第22回図書館情報大学学園祭「栗苑祭」が開催された。図情大はこの10月1日に筑波大と統合したため、今年が最後の栗苑祭となる。

図情大生の創作意欲・エネルギー溢れる模擬店や展示、ステージ企画が充実していて、創立1年目のバレエサークルによる公演、邦楽研究会による幽玄な演奏、妖怪を様々な手法・角度から描いた美術部の展示など、見所が満載であった。また、福祉系サークルの展示も好評で、点字絵本の製作過程に



バレエサークル「ピケッ!」による優美な演技多くの人が足を止めていた。筑波大からもいくつかのサークルが企画に参加し、遊びに来ている筑波大生の姿も多々見られ、統合となった図情大への関心の高さがうかがえる光景であった。

来客の満面の笑みの中、栗苑祭は有終の美を飾った。(取材/文サ連広報局長 徳若和紀・資源2年)

### 伝統文化系サークル合同企画 天上大風開催

9月23日(祝)第3回伝統文化系サークル合同企画「天上台風」を開催しました。天上大風は、伝統文化系サークルが日ごろの活動を合同で発表する場として企画され「伝統文化の競演」と銘打った今回は、華道部、歌留多部、茶道部和敬清寂社、書道部、筑波大学津軽三味線倶楽部無絃塾、筑波能・狂言研究会、邦楽部、焼き物を作る会、落語研究会の9つの団体が参加しました。準備を始めたのはイベント



各団体の真剣な演舞が観客を魅了した

4ヶ月前の5月でした。

雨天中止としていましたが、当日23日は雨だと天気予報で言われても、ここまで準備してきたからには何とか実施したいと誰もが思っていました。当日、朝から天気はよくなかったものの、霧雨程度だったため開催に踏み切りました。準備をしているとだんだん天気も回復してきて、開場前にすでにお客様がいらしたほどです。準備段階で多少の滞りはあったものの、始めてみれば今までにない多くの来場者で活気にあふれ、眩しいくらいに陽が差していたのでした。舞台も展示もお茶席も体験コーナーも好評いただき、最後まで残ってくださった方もいらっしゃいました。その方たちを対象に、フィナーレとして各サークルから、それぞれに特色のあるものを抽選でプレゼントをしたところ、大変喜んでいただけました。

この企画は、元々は伝統文化系サークルの合同新歓として始まりました。それが今では学園都市一円からたくさんの方々に来ていただけるようになりました。それも今まで運営してきた人からの引継ぎがしっかりしていたからだと思います。回を重ねるごとに徐々に知名度もあがり、構成員それぞれの意識も高くなってきました。今回も、細かいところで多少連絡ミス等ありましたが、全体としてはうまく進行していたのではないかと思います。今後は、演出する側としてイベントに参加している人たちも、互いに他サークルの発表を見ることにより団体間の交流を深め、切磋琢磨しあえる場としても発展していったらいいと思います。(寄稿/第3回天上台風責任者 杉山和世・日日2年)

### 宿舎再入居受付・抽選迫る

平砂、追越、一ノ矢各学生宿舎への来年度再入居の募集、抽選が11月から始まった。一般単身用個室は12月3日～6日に申し込みを受け付け、12月11日～13日で選考抽選が行われる。昨年までは抽選により番号の番号を決め、部屋数が確定した時点で若い順に割り当てられていたため発表まで一ヶ月程かかったが、今回からス

ビードくじを使い、当たりができれば学生宿舎に残ることができるという形式を採ることになった。その場で結果がわかるようになり、抽選の瞬間の緊張も一入であろう。ここで抽選に外れた人は、12月24日、25日に行われる二人部屋への入居抽選に申し込みをするか、アパート探しを始めることになる。二人部屋を含め、宿舎に入ることができるか年内に分かるようになったため、今までと比べればアパート探しもさほど困難をきたすことはないと思われる。しかし、それでもこの時期から自分にあった良いアパートを探すのは容易なことではない。抽選はその後を大きく左右する一大事なのだ。ちなみに、例年の個室の抽選倍率は約四倍、二人部屋は約三倍であった。今年も、抽選会場から合格発表でもあったかのような、歓喜の声と悲鳴が聞こえてくるだろう。(取材/文サ連広報局員 林陽平・人間2年)

## 第26回秋季スポーツ・デーを終えて

去る10月26・27日の土日に、第26回秋季スポーツ・デーが行われました。初日の天候はあいにくの雨のため、屋外で開催を予定していたサツ



駅伝走者が陸上競技場を駆けぬける

カー、キックベース、SPORTS FIELD 2002は残念ながら中止となってしまいました。しかし、屋内競技の卓球、バドミントン、バレーボールは滞りなく行われ、参加者達は爽やかな汗を流していました。また二日目もグラウンド状態不良のためソフトテニス中止となりましたが、その後天候が持ち直し、午後からの駅伝は無事開催されました。秋季の花形企画駅伝では、たくさんの選手が仲間からの声援を受ける中、一つでも順位を上げようと真剣な眼差しで大学内を走り抜けました。

さて、このスポーツ・デーの企画、運営を中心的に行っているのが、スポーツ・デー学生委員会です。スポーツ・デーは春季と秋季の年二回行われるわけですが、いったいこの活動はいつから始めているのでしょうか？それは、前年の秋季スポーツ・デー終了後すぐから動き出します。そして、春季、

秋季スポーツ・デーに向けて活動を行っていきます。どのようにしたら当日の運営が円滑に、そして、参加者が楽しんでもらえるのか、こういったことを考えていきます。

毎年行われているスポーツ・デーには色々な特色を出しています。今回私たちは第26代スポーツ・デー学生委員会発足後、特に近年の参加者減少をどうにかしていこうではないかと言うことを話し合っていました。そうした中で今までよりも広報活動に力を入れていこうではないかと決まり、それを実行してきたつもりです。しかし、参加者の減少という問題は今回だけで解決できる問題ではないと思っています。やはり、数年越しの計画になってくるでしょう。特に今回は春季、秋季ともに雨に降られてしまい、この効果が出ているのかどうかは今回だけでは計ることは出来ません。

今後も、私たちスポーツ・デー学生委員会は筑波大学の大きな特色であるこのスポーツ・デーが今まで以上に素晴らしい物になっていくように頑張っていきます。どうか、みなさんも温かい目で見守ってってください。(寄稿/スポーツ・デー学生委員会委員長 波部太一・工基3年)

## 学生相談室から

受付窓口 0298-53-2415  
電話相談 0298-53-2406

「当たり前で普通な生活感」

山口 直美(臨床医学系精神医学)

学生相談室に15年勤めています。最近の学生さんたちには、当たり前で普通な生活とのつながりが薄いように感じます。生活の臭いのする物との接触が少なく、生きているという実感が少ない学生さんが増えています。手首を切ってみて、生きているという感じがしてほっとする学生さん、なんだかわからないけれども涙が出てくるという学生さんが、たくさんいらっしゃいます。一概にはいえませんが、自分の身体や感情との関係が遠くなり過ぎていて、違和感を持ってつながっておられる印象があります。

そこで、年末・年始は、お父さん、お母さんが、生活感を感じさせてあげてください。生活感といっても、例えば自分はこの両親の子供だとか、手足を使って家族の一員として何かをするとか、そういうものが大切なのだと思います。以下にそのヒントを書きますから、ご参考になさってください。

### 1. 大掃除

自分の部屋ではなく、窓拭き・庭はきなど、皆が気持ちよくなる大きなことを一緒にやってください。

### 2. お正月の飾り

今年は一緒に丁寧に飾ってみてはいかがでしょう。飾り方は、若い人のセンスに任せてもいいでしょう。

### 3. 同じ釜の飯を食べる

手分けして買い物をして、洗って、皆で食べましょう。鍋料理・すき焼き・手巻き寿司・豪華なフル・コース。お忙しくて、料理している暇は無けれ

ば、お惣菜を皆できれいに並べるのもいいでしょう。コンパ慣れしているお子さんのほうが、手際がいいかもしれません。

### 4. 初詣

近所の神社に歩いて皆でいきましょう。一緒に歩きましょう。

### 5. 親の子供時代の話をする

どんな遊びが好きだったとか、初恋はいつでどんな風だったとか。どんな料理が好きだったとか、どんな歌手が好きだったとか。入学式で緊張したとか。トイレット・ペーパーを買い占めたとか(オイル・ショック)。自慢や苦労話ではない、ちよっと笑えるような、かつこ悪い話、たわいも無い話がいいですね。小言、グチ、けんかのたぐいはできるだけ避けてください。

では、お父さん、お母さんとの良い年末・年始をプレゼントしてあげてください。

## 就職活動体験記

西 晶子

芸術専門学群・視覚伝達デザイン専攻4年



3年生の10月、私の就職活動は「焦り」と「恐れ」から始まりました。ちょうど先輩から就職活動体験を聞いた時期です。

活動を終えた先輩は皆共通して「早めに活動を始めればよかった！」という感想を持ったようで、そこでいったん焦ってみたものの課題制作などで忙しく、結局リクナビに登録したのは12月上旬。他大学の学生に比べると少し遅めのスタートでした。

まず就職活動とはどんなものか、そして、社会という大きな物に自分が通用するのか、不安で訳のわからないまま、就職課主催の就職ガイダンスに参加しました。漠然とマスコミを希望していたのですが、その一見華々しい世界に憧れているだけで、業界の仕組みをほとんど知らないことに気づきました。

そこで、書籍やインターネットなどで多少は業界のことを研究したものの、まだ本気になりきれないまま、み

んなが受けるからという理由で大手の広告会社や出版社にエントリーを始めました。しかし、そんな甘い考えは簡単に会社に伝わってしまい、何度となく、エントリーや、SPIで落ちたり、作品面接で落ちたりを繰り返し、自信を無くしはじめていました。

そんな状況で、ただ焦るばかりだった私に「こんなに色々な業界を見られる機会はそうそうないよ」と、先輩がアドバイスをくださって気持ちが少し楽になり、積極的に就職活動を楽しめるようになりました。業界という枠にこだわらず、デザインというものごどこで必要とされているかという視点で、服飾・化粧品・消費者金融・パチンコ・印刷・広告、そして編集・デザイン業界を見て回りました。

同時に、就職活動は自分を見つめ直すことの出来るめったにない機会と考え、これまでの自分の趣味・特技、部活などを思い出したり、家族と定期的にやりとりしていたFAXを読み返して、楽しみながら自分を客観的に捉えてみました。仲間と一緒にバドミントンをした時や、生徒会のメンバーと協力して校則を変えた時など、人と関わって活動した時に自分が特に充実感を感じたこと、大学時代では4年間ボランティアとして参加した小学生の無人島キャンプで子供達の抱える問題に直に接したことや、3年生の頃から携わった卒業アルバム製作プロジェクト

など、学業以外の経験の中からも自分が大きな影響を受けたことに気づきました。

これらの自分がしてきたことを様々な分野で活かしたいと考える中で、「子供達にとって何が大切か」「人と関わって物を作れたら」「企画をして、デザイナーや作家などに仕事を頼む側もおもしろい」といった視点で就職活動に臨むことができるようになりました。

そして、自分が今出来ることと、自分が一番問題意識を持てることを考えて、教育系の出版社に決めました。内定がいただけしたのは、そう考えた過程や実体験を飾らず、素直に話せたことが会社に伝わったのだと思います。また、本社が私の実家の近くにあり、将来地元に戻りたいと考える私にとっては、現在考え得るベストな選択だったと考えています。

短い就職活動でしたが、自分という軸を持ちつつ、様々な業界を見た結果、自分に合いそうな場所、自分が一番成長できそうな場所が自然と見えてきた気がします。友達や先輩、家族の支えがあったからこそ「焦り」や「恐れ」を乗り越えることができたと思います。これからも人との関わりを大切に、自分の世界を広げていきたいと思っています。

1 某就職関連会社による就職WEB  
2 適正試験の略

## 就職関連行事のお知らせ

筑波大学では、下記の公務員試験模擬試験及びOB・OG懇談会を予定しています。是非ご子息・ご息女に参加をお勧め下さい。

内 容	実施日	実施場所	申込締切
第四回模擬試験 (国家I種) 教養 (2,500円) 専門 (2,500円) 教養+専門 (3,500円)	1月11日(土) 教養 9:00 専門 13:00	2H201	12月26日(木)
第五回模擬試験 (国家II種) 教養 (2,200円) 専門 (2,200円) 教養+専門 (3,000円)	2月1日(土) 同上	2H201	1月24日(金)
第六回模擬試験 (地方上級) 教養 (2,200円) 専門 (2,200円) 教養+専門 (3,000円)	3月8日(土) 同上	1H201	2月28日(金)
第七回模擬試験 (国家I種) 教養 (2,500円) 専門 (2,500円) 教養+専門 (3,500円)	4月12日(土) 同上	未定	3月28日(金)
第八回模擬試験 (国家II種) 教養 (2,200円) 専門 (2,200円) 教養+専門 (3,000円)	5月10日(土) 同上	未定	5月2日(金)

お問い合わせ・模擬試験の申込  
学生部就職課(本部棟 2階)  
Tel: 0298-53-2254

### OB・OG 懇談会開催日程

日程：平成15年1月17日(金)  
平成15年1月22日(水)  
平成15年1月29日(水)  
平成15年2月5日(水)  
平成15年2月12日(水)  
平成15年2月19日(水)  
平成15年2月26日(水)  
時間：14:00～16:40(休憩時間を含む)  
場所：筑波大学学生会館特別会議室  
(詳細は申込み受理後連絡)

## 年末特別企画 三系委員長・全代会議長座談会

筑波大学の学生組織のうち、サークル活動に関わる三系では12月に現執行部が任期を終えます。そこで、三系の委員長と全代会の議長とで2002年を振り返る座談会を開きました。〔11月8日(金)紫峰会天久保事務所にて〕

小塩(司会):今年度行なった活動の中で、特に力を入れたことや特徴的な出来事は何でしたか?また来年度以降の課題としては何が挙げられますか?

秋山(体育会):代表者と執行部との距離が近くなったということがあげられます。毎月行われる代表者会議でも質問が出されるようになり、代表者の意識が高まってきたことがわかります。一方で代表者会議で議論されたことなどが、一般の構成員まではなかなか伝わっていないのではないかと思います。それがこれからの課題だと思います。

中村(文サ連):団体協議会を大幅に短縮化したこと。これについては賛否両論でしたが、運営委員会としては一年通して効率化を図り、今ではかなりスムーズに進むようになりました。問題は、サークル側の意識と運営委員会側の意識とに、ものすごく温度差があるということです。団体協議会の意義を考えることがこれから一番重要なことではないかと思います。

佐々木(芸サ連):もちろん芸術祭とクリスマスコンサート。芸術系のサークルは発表して見てもらうのが基本的な活動なので、僕ら執行部はこのようなイベントの企画に一番力を入れてきました。これからは、芸サ連の活動をみんなに知ってもらうための広報活動

の充実が課題です。

板橋(全代会):今年度は大学全体としても変革の年でした。5月には駐車場がゲート化され、全代会の厚生委員会を中心に駐車場に関するワーキンググループを設立して規則の改正や学生側の要望の取りまとめなどに力を入れました。また10月には図書館情報大学(以下図情大)と医療技術短期大学部(以下医短)が統合となり、これに呼応して三系と全代会で協力して、図情大生に筑波大の学生組織の説明を行うなど学生同士の交流を盛んに行なったということがあります。今後の課題としては、全代会構成員個人における役割の分担、ひいては組織全体の構築をどうしていくか。そして、全代会を全学の学生にもっともっと知ってもらい、身近な存在として認識してもらうように広報していきたいと思います。

秋山:図情大との統合に際しては、大学同士の関係の中で、統合後のサークル活動などに関しては我々課外活動団体の組織から意見を提示をしていったことが大きい。こちらの学生組織が手を組んで話をしていたということが、この一年の中で一番と言える活動ではないかと思う。

板橋:全代会でも構成員の中から有志を募り、図情大と医短との統合に関するワーキンググループを設立して、このことを継続的に考えていこうとしています。その中で何か問題が浮上してきたら、三系を含めてまた話し合いを開いていければと思います。統合に関する問題の取り組みを通して筑波大学内の学生組織間の交流もすごく促進されたという点も大きかったと思います。

小塩:紫峰会の活動に対し、感想や要望などを聞かせてください。

秋山:特に委員長になってから思うことですが、課外活動団体援助金や課外貸付金があるおかげで、みんなの活動の幅がすごく広がっているということがあります。筑波大学内だけではなく、日本国内だけでなく、世界に広がって活動を行なっていけるようになってきた。それにはやはり紫峰会の力がすごく大きいと感じます。

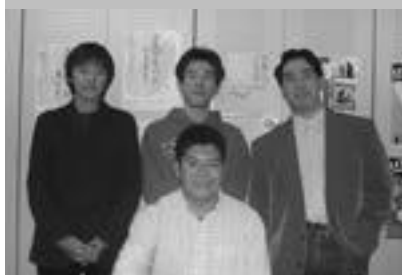
中村:拡大三系財務会議で、紫峰会についての資料やデータが公開されていて、そのとき初めてわかったことなどが多かったのも、それが非常に役に立ったと思う。だからこの先も、僕たち学生組織だけじゃなくて、一般学生にも紫峰会の存在意義をわかってもらうような活動をしていくのが、今後大事なことではないかと思います。

佐々木:会計と責任者を交えて、毎年行われる会計面接が各サークルにとって、たいへん役に立っていると思う。あとはUT関係のこと。ポスターなどのデザインまで依頼できて、良いものが安くできるので、広報活動が重要な芸サ連にとってはかなり助かります。

板橋:今年は全代会の構成員の名刺を組織助成金により作成して頂きました。学生を代表して、大学関係者や、学外の人に対しても名刺を配る機会が多くあり、非常に役に立ちました。これからを考えたとき、主に学類新歓など各学群学類で企画されたイベントに対しても、サークル同様のご支援をいただければより活発な活動が行なえるようになっていくと思います。

小塩:以上で座談会を終わりにしたいと思います。今日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。(文責/体育会広報局長 小塩淳仁・人文3年)

### 座談会出席者紹介



上段左より:板橋、秋山、中村、  
下段:佐々木

体育会執行委員会委員長

秋山拓(体操部・体育4年)  
東京都立小石川高校出身。持ち前の明るさで、会議ではいつもムードメーカー。さわやかお兄さんの存在。

文化系サークル連合会運営委員会委員長

中村尚史(天文研究会・人文3年)  
東京都出身。堅実で冷静な判断で組織をまとめる。細かいところまで目が行き届く渋い男。

芸術系サークル連合会運営委員会委員長

佐々木通年(応援団桐葉・社工3年)  
北海道函館中部高校出身。明朗快活、笑顔が素敵な応援団員。控えめな感じがするも熱い心を持った人。

全学学類・専門学群代表者会議議長

板橋雅則(日日3年)  
栃木県立宇都宮高校出身。頭脳だけでなく運動もできる男前。言わずと知れた全代会の顔。

## Circle Headline

### 学園祭を終えて

(現代視覚文化研究会・文サ連)



『バトルフィーバー』これが今年の学園祭における現代視覚文化研究会のテーマでした。つまり、各々の企画を戦わせようというものです。サークル内に競争原理を持ち込み、切磋琢磨することで全体のレベルアップをはかったのです。

気合の入ったイラスト展示、会長一世一代の特撮映画にキャラクターもかわいい自作ゲーム。オリジナル待ち受け画面やセル画描きの実演、卵オブジェなどなど、どれも製作者の個性が溢れるものばかりです。とくに、特撮映画はお子様に人気があり、グッズを買っていかれる方も目立ちました。もちろん、ぬり絵コーナーやリレーマンガ、落書きスペースなどお客様に参加していただく企画もありました。ぬり絵はドラえもんやドーマくん、トトロなどのキャラクターを我々が描いたもので、本物そっくりと評判でした。

今年は物品販売の品数も豊富で、会誌、同一原作、個人誌と本だけでなんと3種類もありました。会誌は会員のイラストやマンガ、小説などをまとめたもので、内容もバラエティに富んでいて、たいへん現代視覚文化研究会らしいものです。同一原作は、一つの話が数人がマンガ化したもので、同じ話でも描き手が違うと全く違う話になるのは、見ごたえがあります。個人誌も人気があり、最終日には完売してしまいました。カレンダーやラミネートカードといったグッズも充実しており、なかなか好評で作り手としては嬉しい限りです。

3日間を通してお客様の入りもよく、今年の学園祭も成功したといえるでしょう。しかし、わたしたちはこの

成功に満足することなく、日々精進していきたくと思っています。(寄稿/現代視覚文化研究会 松宮さやか・人文1年)

### 定期コンサートを終えて

10月10日、僕にとって最後の定期コンサートが終わりました。合唱団むくどりの団長という職に就いてから約1年間、唄の魅力に気付いてから2年間、時間が経つのは本当に早いものです。混声合唱は通常、4パート(ソプラノ・アルト・テナー・ベース)で演奏しますが、僕達の代が始まった時、団員は8名(男性は2名)しかいませんでした。男性不足は混声合唱にとって致命的で、技術的にも人数的にもまさにゼロからの出発でした。それが1人、また1人、どんどん仲間が増え、いつの間にか20人に。奇跡です。団員が増える、仲間が増えていく、団長としてこれほど嬉しいことはありませんでした。大変だった練習、辛かった仕事、そして20人皆で迎えた定期コンサート、今となってはそれらの全てが、かけがえのない大切な思い出です。

この原稿を依頼された時、正直、書くのをためらいました。喜び、怒り、悲しみ、そして寂しさ、この1年間の思い出、定期コンサートに至るまでの思いを言葉で全て言い尽くすことは出来ないと思ったからです。やれることは全てやった、これが今の率直な感想です。唯一気がかりな点を挙げるとすれば後輩達のこと。憎たらしくらいわがままで、言うことを聞いてくれない小娘達でしたが、いざ離れてみると結構寂しいものです。ちゃんと皆練習に来ているのか、計画通り仕事は進んでいるのか?団長気分が抜けてない証拠でしょうか。今はただ、後輩達のこれからの活躍を祈るばかりです。この1年間、合唱団むくどりを支えて下



照明の満月をバックに"荒城の月"を熱唱

さった皆様、本当にありがとうございました。これからもよろしくお祈りします。(寄稿/合唱団むくどり 第22期団長 依田盛宏・人間3年)

### サークル紹介・アイススケート部



シーズンに向け、練習にも熱が入る

スケート部は全員が大学からスケートを始めた初心者。しかしスケートに対する思いは強く、熱心に練習している。スピード、フィギアの2部門に分かれ、それぞれの部門で目標を掲げ取り組んでいる。多くの部にとってはオフに入るこの時期、私たちにとってはこれから本番。さあ、いよいよシーズンが始まる。

<スピード部門> 冬季ソルトトレイクオリンピックは、みなさんの記憶に新しいと思う。室内に設けられた400mの広いリンクでカシャンカシャンとスラップスケートの音を響かせながら滑る選手。TVから伝わってくる華々しいイメージが、スピードスケートそのものだと思っている方が多いだろう。しかし我々の活動拠点は、そんな華々しい世界とはかけ離れた、奥日光の山のふもとにある野外のリンクである。そもそもスケートとは、寒さ、風などの自然条件の変化に対応しながらやる野外スポーツである。野外のリンクはとにかく寒い。氷点下での練習、大会が当たり前。時には雪の降る中、時には強風の中で滑る。しかし雄大な自然に囲まれたリンクで、白い息を吐きながらスピードに乗って滑るのが快感でやめられない。現在国公立2連覇に向けて猛練習中である。一人一人がそれぞれの目標を持ち、熱い冬に向けて動き出した。

<フィギア部門> もっと高く、もっと優雅に、あと1/4回転、を目指して笑顔で楽しく演技する。それが私たちの目標である。昨年、近くのリンクが閉鎖し、今年は春から殆ど氷上に乗っ

ていない。そのためシーズンになってリンクがオープンするのが待ち遠しかった。練習時間に規制はなく、自由な時間に真岡にあるリンクで各自練習している。今年は新入生がたくさん入部し、部員同士追いつけ追い越せの競り合いで部全体も活気付いている。氷上で自分が持つ魅力を最大限に発揮すべく、これからのシーズンを精一杯頑張りたい。(寄稿/アイススケート部総合主務 白崎智子・体育2年)

## サークル紹介・艇友会

私たち艇友会は、「ボートを楽しむ」「漕ぐ」ことを目標に総勢約15名で活動しているサークルです。平日は週3回の陸上トレーニング、そして週末は土浦市の京成マリーナへ出かけ、実際にボートに乗って練習をしています。厳しく練習をすることが目的ではなく、練習は常に和気あいあいとした雰囲気で行われており、その中で各メンバーは自主的に技術・体力の向上に努めています。年6回程度の大会に参加しその成果を試します。

去る11月10日、茨城県潮来市の潮来ボートコースにおいて第37回県ボート新人戦が開催され、艇友会からは男女それぞれ1艇ずつが出場しました。結果は男子が3艇中3位、女子は

2艇中1位でした。私たちが乗っているのはナックルフォアという、1クルー5名(漕ぎ手4名、舵手1名)のボートです。特に女子は毎年メンバーが足りないのですが、今回も昨年に続きぎりぎりですが出場できました。そして、競争相手がいたことも幸いでした。2艇というクルー数を見て、少ないと思われた方も多いでしょう。しかし、茨城県のボート競技人口自体が少ないというのが現状で、昨年の同大会では何と相手がおらず、もしかして今年も…と心配していたのです。

特に一年生には勉強になった大会でした。男子は残念ながら3位でしたがタイムはさほど悪くなく、夏合宿や朝練での集中練習の成果を出してくれたと思います。女子艇は、クルー数は少ないけれど優勝できたことはやはり大変嬉しいことです。今後もボートを楽しみつつ、タイムを向上させるようがんばりたいと思います。(寄稿/堀江雅美・比文2年)

## サークル紹介・医学ヨット部

医学ヨット部は部員数20名。普段は霞ヶ浦のヨットハーバーで土日に練習を行っている。ヨット競技は男女の区別がないため部員は男女半々の構成である。「470」というヨットに二人で乗



優勝した西畑選手を囲んで記念撮影り込み、協力し合って水の上を走る。特に夏場、風のあるときに走っていると、時の経つのを忘れてしまう。

今年一番の思いでは、なんとと言っても8月のはじめ、湘南の海で行われた東日本医科学生総合体育大会である。西畑庸介選手(医学5年)が創部以来初の個人部門での優勝を決めたのだ。今年は筑波大学が主管であったため運営にも時間を割かなければならなかった上に、大会前の合宿中に何度も台風にみまわれるなど、必ずしも十分な練習を積めた訳ではなかった。しかし、40艇以上ものヨットがひしめき合う中、西畑選手はほとんどのレースをトップでゴールし、ダントツで優勝を決めた。ゴールライン上の船から見たその姿は、本当に勇壮であった。私は今年のレースメンバーではなかったが、運営の中で大会期間中に集まった他大学の学生との交流もでき、とても有意義であった。(寄稿/医学ヨット部 田中保成・医学2年)

## クリスマスコンサート2002開催

今年も恒例のクリスマスコンサートが開催されます。ステージ出演団体、展示団体の日程、開催場所は以下の通りです。是非ご来場下さい。

### ステージ

12月11日(水)~13日(金) 開場17:30 開演18:00 場所: 大学会館ホール  
 11日(水) 合唱団むくどり、フラメンコ同好会ロサロハ、アカペラサークルDoo-Wop、管弦楽団 津軽三味線倶楽部無絃塾、混声合唱団  
 12日(木) ギター・マンドリン部、ブロックフレーテ同好会、フォルクローレ愛好会、ピアノ愛好会 JAZZ愛好会、応援団桐葉  
 13日(金) つくばフォーク村、筑波音楽協会、E.L.L.(筑波軽音楽協会)、吹奏楽団、THK(筑波放送協会)

### 展示

大学会館本館ギャラリー  
 12月9日(月)~13日(金): 落語研究会  
 16日(月)~20日(金): 書道部

大学会館別館ギャラリー  
 12月9日(月)~13日(金): 写真部

主催: 筑波大学大学会館 企画・運営: 芸術系サークル連合会  
 お問い合わせ 090-9379-6137(永井)

## 筑波大学混声合唱団 第27回定期演奏会

私たち混声合唱団は、大学生活の中で、歌とともに成長してきました。皆様に私たちの歌を聴いて頂きたく、定期演奏会を行います。お誘い合わせの上、ぜひご来場下さい。団員一同お待ちしております。

平成14年12月21日(土)  
 開場13:30 / 開演14:00  
 つくばセンタービル・ノバホールにて  
 入場料: 前売り400円 / 当日500円  
 お問い合わせ: 0298-58-1889(栄)  
 詳しくは、混声合唱団ホームページをご覧ください。  
<http://fweb.midi.co.jp/konse/>

体育会広報局長 小塩 淳仁

(艇友会・人文3年)

紫峰会報の編集にたずさわようになってから、「あっ」という間に一年が過ぎてしまいました。この活動を通して様々なことにチャレンジすることができ、とても有意義な時間をおくれたと思います。会報の編集員としてはこれで引退ですが、体育会の執行委員としての活動はもう一年任期があります。ここで学んだことを充分活かしてこれからも頑張っていきたいと思えます。

体育会医学支部広報局長 橋本 浩平  
(医学硬式テニス部・医学3年)

振り返れば、この一年はみんなに迷惑をかけ通してました。去年の今頃は実習に明け暮れ、新年度になってもカリキュラムの違いから会議もろくに出席できませんでした。そんなこんなで気が付けば大変な仕事はすべてみんなに任せていた気がします。そんな僕も今号をもって一年間なんとかやって来たわけで、僕の仕事によって医学支部団体の活動が一人でも多くの方に知ってもらえたのなら幸いです。今までありがとうございました。

芸サ連広報局長 花岡 亜希

(書道部・比文2年)

「良い文章」とはどのようなものか、この一年間考えてきました。このような根本的な疑問にぶちあたったのは、会報に掲載する文章には、今まで書いてきた文章で求められた文辞や表現の巧みさ以上に、それらとは異質のものが

## Editors'2002

一年間頑張って、会員の皆様に色々な情報を提供してきた彼らも今号で引退です。最後の一人一言を聞いて下さい。



後列左より 大久保、林、小塩  
前列左より 徳若、花岡、橋本

要求されていることを知ったからです。即ち、読者を想定し、会報を興味深く読んでいただくためにその関心に沿うことです。会報の編集においては、この要求を満たす文章が「良い文章」に値するのだと、さしあたり考えています。新しい価値観に出会え、貴重な経験ができたと思います。

芸サ連広報局長 大久保 直美

(ピアノ愛好会・日日2年)

私が何の気なしに運営委員となり、紫峰会報担当になってから早くも1年が経とうとしています。思えばこの1年間は、遅い社会科見学をやっているような気分でした。私にとってほとんど未知の道具であったパソコンやカメラを扱う機会を与えられ、少しだけ経験を上げた自分では思っています。文章を書くこと自体は苦ではなかったけれど、インタビューやアンケートな

ど記事を作る前の段階で学ぶことがたくさんありました。1年間どうもありがとうございました。

文サ連広報局長 徳若 和紀

(山岳旅の会・資源2年)

去年の12月から紫峰会報編集に携わり、今号で最後です。任期が1年か...長いなあと思っていたのも束の間でした。常に締め切りに追われつつ、いつの間にかその1年が過ぎようとしています。編集、取材の心得えなど、紫峰会報を作成する過程で様々なことを少しずつ勉強させてもらいました。ようやく板に付いてきたと思うこのごろ、もう任期が終了です。本当に早いものです。自分の満足のいく文章を書くのが、如何に難しいか痛感させられた1年間でした。今まで私の拙い文章につき合っていただきありがとうございました。

文サ連広報局長 林 陽平

(社会福祉研究会・人間2年)

この一年、果たして僕がどれだけ編集の仕事に貢献できたかという疑問が残りますが、自分なりに精一杯頑張ってきたつもりです。気がつけばもう一年経ってしまったんですね。公に向けた文章を書くということで決して楽なものではありませんでしたが、この仕事に携わってきたことで、今までにない経験を得ることができ、自分の視野を広げる良い機会になりました。ここで学んだことを様々な場面で活かしていくことができれば良いと思います。一年間ありがとうございました。

### 芸術専門学群卒業制作展及び芸術学研究科修了展のお知らせ

筑波大学で芸術を学び、磨き抜かれた作品の数々がごらんいただける、平成14年度卒業制作展/修了展が下記にて開催されます。是非お越し下さい。

場所 つくば美術館

(つくばセンターバス停より徒歩5分)

日程

2/11(火)~16(日)[美術専攻]

2/18(火)~23(日)[構成・デザイン専攻]

2/25(火)~3/2(日)[修了展]

2/22(土)には併設のアルスホールにて芸術学専攻の発表会が行われ

#### 平成14年度紫峰会協賛会員

- 三井住友海上火災保険株式会社
- 黒田印刷株式会社
- 有限会社グッドライフ
- 株式会社ジャスティ
- 有限会社ネクスト
- 有限会社柿本ハウジング
- ホテルスワ
- 株式会社リクルートスタッフィング
- 株式会社システムポート筑波
- 有限会社むうじゅ
- ラグーン
- ホテル松島
- 筑波国際アカデミー
- オルガノ株式会社
- 株式会社アジア住販
- 日本流通企画株式会社
- 有限会社アテック
- セイコーインスツルメンツ株式会社
- 富士アウトソーシング株式会社
- 株式会社筑波学園自動車学校
- 株式会社スタッフサービス
- 株式会社NSP(日清製油グループ)

- 株式会社エフ・ディー・シー
- 株式会社フォーラムエンジニアリング
- 株式会社茨城計算センター
- 寺島薬局株式会社
- 沼尻産業株式会社
- 新光証券株式会社
- 日本情報産業株式会社
- 日本精工株式会社
- 豊商事株式会社
- 北越製紙株式会社
- 関影商事株式会社
- エール不動産
- ヘア・スタジオ ピース
- ヘア・ブティック アートM
- メンズサロン 髪
- mini-mini
- 有限会社ホソダ
- 高麗
- 平塚デンタルクリニック
- KMサービス
- 美津濃商事株式会社
- 《特別会員》
- (財)筑波学都資金財団 H14.11.1現在